

緊急開催

シンポジウム

袴田事件

残された課題・死刑制度・冤罪



6.14
土

13:30 開始~17:00 (13:00開場)

鹿児島弁護士会館 市役所前電停 徒歩2分
3階会議室 (先着順 100名 無料・ご予約不要)
Zoomによるリモート視聴 (先着順 100名 無料・ご予約不要)

講演 「当事者」が語る袴田裁判と刑事司法の問題

主催 鹿児島県弁護士会
鹿児島県鹿児島市易居町2番3号
TEL. 099-226-3765
<https://www.kben.jp/>



小川秀世
袴田弁護団事務局長
再審無罪では終われない
司法という大問題



袴田ひで子
袴田殿さんの姉
殿と私の58年……
弟の苦しみを役立てるために

共催 日本弁護士連合会
後援 袴田事件弁護団 / 大崎事件弁護団 / 日本プロボクシング協会 / 袴田さん支援クラブ / 日本国民救済会

ビデオ講演 アメリカ・フランスの「眼」がとらえた袴田裁判と日本の司法



デヴィッド・ジョンソン
ハワイ大学教授・法社会学
「アメリカ人の見た日本の死刑」
「検察審査会」など



西村カリン
ラジオフランス、仏リベラシオン紙特派員
「フランス人記者、日本の学校に驚く」「日本：完璧さの隠れた裏側 (仏語)」など



シンポジウム

袴田事件

残された課題 ・ 死刑制度 ・ 冤罪

再審公判の法廷で
この法廷で裁かれるべきは我が国の司法そのものなのです — 小川 秀世
無罪判決後の記者会見で
弟の四八年間の苦しみがせめて活きるよう、速やかな法改正を切に望みます — 袴田ひで子



2024年9月26日
無罪判決の日・静岡地裁前

2025年

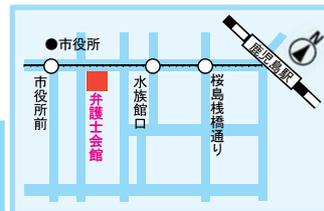
6.14
土

13:30 開始 ~17:00 (13:00 開場)

鹿児島県弁護士会館 鹿児島市易居町2番3号 市役所前電停 徒歩2分

3階会議室 (先着順100名) **入場無料・予約不要** (直接ご来場ください)

リモート参加無料・予約不要 (先着順100名) 当日直接どうぞ 入口は弁護士会HP▶



無罪判決で終わりにしてはならない — 死刑制度と冤罪 司法の負の連鎖を断ち切るために

58年目の無罪判決でも残された課題を正面から見つめましょう

昨年秋、いわゆる袴田事件に終止符が打たれました。袴田巖さんが自由を奪われて実に58年目の無罪判決です。姉のひで子さんは「被告人は無罪、という裁判長さんの声が神々しく聞こえました」と述べています。しかし、奪われた歳月は戻りません。そして、冤罪は今まさにこの時にも生まれています。判決の内容をつぶさに見れば、警察・検察の「ねつ造」に踏み込む一方、いくつもの重大な違法行為が看過されています。さらに、現在進行中の「再審法」改正も、有意義な結果が得られるか予断を許しません。また、

この悲劇を生んだ「死刑制度」にも目を向けねばなりません。今こそ、主権者である市民のみなさんに、この国の司法の闇と課題、展望を知ってもらう必要があります。当弁護士会は「シンポジウム袴田事件」を開催します。まさに当事者、弁護団の要、小川秀世弁護士と、闘いの柱、袴田さんの姉、ひで子さんを招き、その肉声を鹿児島県のみなさまに届けます。会場でもまたは、リモートでご覧ください。

鹿児島県死刑制度検討委員会

講演 小川秀世 弁護士 (袴田弁護団事務局長)



再審無罪では終われない 司法という大問題

司法研修所 36 期終了 / 静岡県弁護士会所属 / 小川秀世法律事務所 / 袴田裁判の再審公判後期における主任弁護士

鹿児島県のみなさん。袴田事件は一旦終わりましたが、闘いは続きます。無罪判決は袴田さんを追い込んだ不正・違法行為を明らかにするという意味ではおよそ不十分なものでした。私たちはこれから国賠訴訟に臨みます。その過程で、制度疲労を起こしている司法の課題も明らかにします。死刑制度そのもの・不十分極まりない証拠開示・未だに無法地帯である「取り調べの現場」など。巖さんの人生は取り戻すことができません。無罪判決をその場限りのものにしてはなりません。私どもの訴えにぜひ耳を傾けてください。

講演 袴田ひで子 (袴田巖さんの姉)



巖と私の58年 弟の苦しみを役立てるために

静岡県生まれ / 殺人犯・死刑囚とされた弟の無実を信じ、58年間闘い抜いた / 92歳の今も各地で応援を続ける、人呼んで「世界一の姉」

鹿児島県でも大崎事件、志布志事件など、あってはならない冤罪事件が起こっています。巖は、たくさんのみなさんの応援と幸運に恵まれて、やっと「真の自由」を手に入れました。でも、苦しんでいる方々は各地にたくさんいらっしゃいます。私は「巖が救われればそれで良い」などとは考えません。もう若くはありませんが、残された時間で少しでもお力になりたいと考えています。こうして、みなさんにお会いしてお礼を申し上げますとともに、この世から冤罪を無くすことにご協力いただけるよう訴えます。お会いするのが今から楽しみです。

ビデオ講演「外国人の眼」が見た日本の司法・死刑制度



デヴィッド・ジョンソン ハワイ大学教授・法社会学 アメリカ合衆国出身。1990年代から日本の刑事司法、死刑制度などに関心を持ち、しばしば訪日し、深く研究する。袴田裁判も実際に傍聴。主な著書に『アメリカ人が見た日本の死刑』『検察審査会』(岩波新書)など。



西村カリン ラジオフランス、仏リベラシオン紙特派員 フランス出身。日本人と結婚し、二児の母かつ記者として様々な社会問題に斬り込む。著書『フランス人記者、日本の学校に驚く』(大和書房)、『日本：完璧さの隠れた裏側 (仏語)』『日本人と日本 (仏語)』など。

袴田事件 1966年に静岡県清水市(当時)で、みぞ製造会社専務一家4人が殺害され、従業員で元ボクサーの袴田巖さんが起訴され、死刑判決を受けました。袴田さんは一貫して無実を主張しましたが、47年間不当に拘束されました。事件から58年後、88歳の袴田さんの無罪が確定しました。

▶当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ず本イベントを中止する可能性があります。(目安として10分以上配信不能となった場合)▶視聴者のPC環境・通信状況等の不具合について、当会では責任を負わず、Zoomの利用方法等についてのサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。▶録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断り申し上げます。

